

中津ロータリークラブ週報

2021-2022年度 中津RC会長テーマ

Join up Rotary! ～ ロータリーに参加しよう ～



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
シェカール・メータ
2021-2022 RI会長テーマ

第3287回 2022年4月20日 点鐘:12:30

本日の出席者	会 員 数	49名	欠席者 (11名)	事前: 佐藤裕史会員 (東龍IAC)、瀧会員 (財務委員会) 日高会員、細川会員、伊藤会員、柿内会員、黒田会員、峯中会員、大家会員、末廣会員、高津会員、土岡会員、山本洋一郎会員
	出席対象者数	49名		
	出 席 数	38名		
	出 席 率	77.55%	今週の歌	それでこそロータリー
来 訪 者	井上百合氏 (榊井上酒造 代表取締役)			

●会長の時間〔吉田会長〕

本日のゲストの井上酒造様の新酒祝い蔵開き「春搾り」が3年ぶりに盛会に行われたとの大分合同新聞の記事がありました。当クラブも今月は予定どおり3回の例会ができ、気を付けながらではありますが徐々に日常がもどりつつあることを実感しています。

毎週例会があるとリズム感のあるメリハリがきいた生活サイクルが生まれると同時に、毎日が早く過ぎるように感じます。次回例会はGW明けの5月11日となり、その間の5月7日には山形南RC50周年記念式典があります。先日、中村篤山形南RC会長と話をしましたが、祝賀会を含めて予定どおり実施するとのことで、お祝いを申し上げます。私はまだ宿泊をとまなう移動は無理なので参加できず申し訳なく思っていますが、細川会長エレクトら17名で訪問します。記念式典の中で記念事業紹介があり、昨年度の向笠記念公園移転の際に贈呈された電波時計の紹介と目録をいただくことになっています。また式典の司会進行は、さくらんぼテレビの重松沙恵アナウンサーが務めるとのことです。重松アナが中津出身で縁があるので司会をお願いしたところ、快くお引受け頂いたそうです。重松アナも中津RCの会員さんとお会い出来るのを楽しみにしているとのことでした。なお、当クラブからは記念品として例会用の演台を贈呈いたします。

最後にロータリーについての情報です。先週、2022年RI規定審議会が行われました。当地区から前田バスターがオンラインで参加され、報告が届いてますので回覧いたします。決議は多項目にわたっており、全てを見こなせてませんが「会員がクラブの所在地域に住居または事業所を有する要件を削除」が採択されたとありました。これからはロータリークラブも大きく変わっていく予感がします。

●幹事報告〔松下幹事〕

- ・例会変更 中津中央、大分7クラブ
- ・その他回覧 2022年RI規定審議会報告、ウクライナ人道支援のお願い、地区大会ご案内
- ・佐藤淳会員、退会のお知らせ。

●退会挨拶〔佐藤淳会員〕

本社転勤に伴い4月末日で退会します。



●委員会報告

・国際社会奉仕委員会〔川端眞之委員長〕

4月27日6:00より向笠記念公園の清掃活動を行います。都合の良い方はご協力お願いします。

タイに送った靴はまだ到着連絡はありません。あり次第報告いたします。

●ニコニコボックス

〔黒木会員〕 ゲスト歓迎、二人目の孫が誕生しました。

〔井上会員〕 佐藤会員の今後のご活躍を祈念します。

〔重本会員〕 結婚記念日・夫誕生日花束お礼、佐藤会員ありがとうございました。

〔山本昌豊会員〕 佐藤会員ありがとうございました。

●ゲスト卓話

「伝統を繋ぐ」

榊井上酒造 代表取締役/蔵人 井上百合氏



創業1804年、今年で218年目を迎える井上酒造の二人姉妹の長女として生まれました。小学校1年から、夕食時にお猪口一杯の酒が出るようになりました。ある時、口に含んでみると米の旨味と甘み・酸味が交じり合い、美味しさに感動しました。当時、女性は蔵に入ることが

できませんでした。蔵の奥から漂う良い匂いを嗅ぎに毎日蔵の入り口に行きました。この匂いと味が一致したときは、感動のあまり涙が溢れて止まりませんでした。

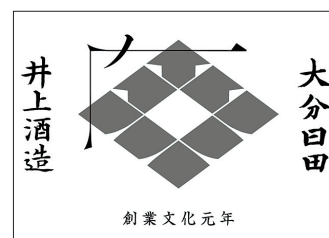
後継者として帰省し8年が立ちました。幼い頃から家業継承は自覚していましたが、妻として蔵元を支えるイメージでした。まさか自分が酒造りをして会社を営むとは思いませんでした。本当は美術が好きで美術大学に行こうと思っていましたが、親のすすめで家政科に進み、卒業後は福岡の会社に就職しました。運命の出会いが就職先の社内。しかしお互いに長男長女で、家族間での話し合いが続き、「井上酒造を途絶えさせないこと」が最重要事項に。最終的には、3年後に夫妻で大分に戻って家業を継ぐとして結婚が決まりました。結婚3年目に夫の東京への転勤が決まり、父に相談すると、無理やり日田に戻して後悔するといけなからと、「あと3年くらい行ってきたらいい」と快く承諾してくれました。そして気付けば東京で20年。その間に一人娘も生まれました。一人娘が成人を迎えた日、娘から「今まで育ててくれてありがとう。ママは、ママの人生を歩んでいいと思っている。今、故郷に帰らなかつたら、きっと一生後悔すると思うよ」といわれ、その言葉で決心しました。「家を継ぐために生まれてきた」と思っていたので、夫婦間で話し合い離婚を選択。日田に帰り事業継承を決断し、2014年約30年ぶりに日田に帰郷しました。故郷に帰って、三隈川に沈む夕日に息をのみました。「何て美しいのだろう」と見惚れてしまい、長時間眺めていました。雨上がりの山々や三角形の杉が水墨画みたいで本当に美しく、「故郷ってこんなに美しかった？」と改めて思いました。同級生たちも「帰ってきてくれてありがとうの会」を開いて、何十年も不義理にしていた私を温かく迎えてくれました。

帰ってきてからは、井上酒造の一社員として酒造りに関わる現場を一から学びました。焼酎、清酒、詰口、営業、事務……すべてを頭と体に叩き込む日々。清酒製造に関しては当時、東京都北区にあった酒類総合研究所で研修生になり、若者に交じって清酒製造業を学び、人生で一番勉強しました。技術を習得して帰ってきて故郷をあらためて見て「酒は米から」との思いで、農業をはじめたくなりました。同時進行で、経営状況や資金繰りを

学ぶ日々が始まりました。実現性の高い経営計画をつくり経営改善を続けてきました。まずは社員向けに「中期経営計画策定にむけたご協力をお願い」という資料を作り、改善に早急に取り組む必要を社員に説明しました。社員もいろんな意見をたくさん出してくれました。そこから3年計画をつくることになり、「品質を第一に考え、安心安全な酒造りに努め、伝統を大切にしつつ新しいことに挑戦する」という経営理念を策定しました。「井上酒造を支えてくれる従業員の皆様へ」という資料をつくり経営状況を開示しました。5S活動も始まり、利益が出たら従業員に還元することを約束し、3年目に決算書賞与を出すことができました。

この重要な3年目に九州北部豪雨で蔵が流されました。被害の大きさに夢も希望もないと立ち尽くしました。それからは優先順位を決め1ヶ月半かけて掃除をしました。ただし「出荷は止めない」と朝礼で元気な顔で社員に宣言しました。もう一つの希望はその間、苗が順調に生育していたことです。「もろみがいるから」と困難な状況の中でも社員が出社してくれました。豪雨の中、裏に住む90歳を過ぎたおばさんが「小さい頃から、何かあったら酒屋に行けと言われていた」といって私を訪ねてきてくれました。その夜その方から「大鶴村はお宅の酒米を育てていて、収穫したら男衆が全員蔵に入って酒造りをしていた」という話を聞きました。井上酒造があるのは地域の方々のおかげだとあらためて知り、地域に根ざした企業になりたいと思いました。災害は苦しかったですが学ぶことが多くありました。

ワインにはテロワール（産地の気候・土壌・地勢などの総合的な地域性）という考え方があります。日本酒もこの考え方で、地域全体で取り組みたいと思います。またしっかりしたブランディングで企業の総合プロデュースを目指しています。



●5月11日(水)例会のご案内

ゲスト卓話

「足元から平和を考える一宇佐の取り組み」
宇佐市教育委員会社会教育課 安田晃子氏



中津ロータリークラブ週報

国際ロータリー
第2720地区

事務局／〒871-0055 大分県中津市殿町1383-1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-6908 FAX 0979-22-6909

E-mail nakatsu.r.c@feel.ocn.ne.jp URL <http://www.nakatsu-rc.com>

例会／毎週水曜日 12:30～13:30 ヴィラルーチェ中津 TEL 0979-23-1122

●2021-2022年度

会長／吉田清勝 幹事／松下幸之助 IT支援・RI情報・公共イメージ委員長／井上光範